

豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくり

○ **ポストコロナ**における住まい方や働き方を見据え、**豊かで活力ある地方創り**を行い、これまでの東京一極集中から脱した**分散型の国づくり**を推進。

<デジタルを前提とした国土の再構築>

2050年までの国土の姿を描いた「国土の長期展望」等を踏まえて、**地域生活圏の形成**など「**デジタルを前提とした国土の再構築**」を目指し、**新たな国土計画を前倒して検討**（来年初夏に中間とりまとめ予定）。

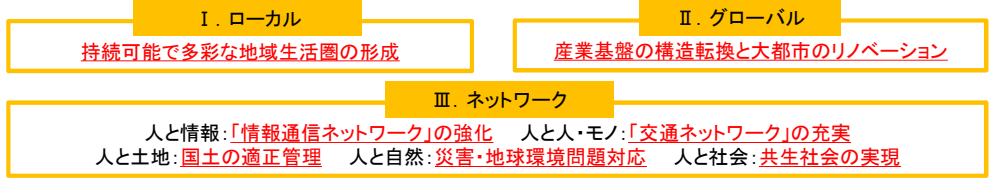
「国土の長期展望」最終とりまとめ（令和3年6月）

デジタル世界の到来は、地理的条件で不利な地方の再生の好機
価値観が多様化する中で、より貴重となるリアルの世界
「コンパクト+ネットワーク」による持続可能な地域づくりの必要性

→ 『**デジタルを前提とした国土の再構築**』
～人口減少下でも安心して暮らし続けられる国土へ～

国土づくりの目標：『**真の豊かさ**』を実感できる国土

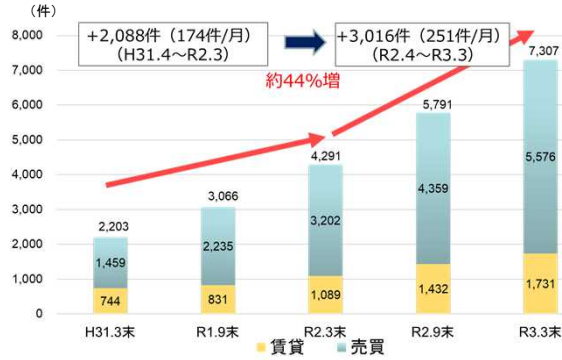
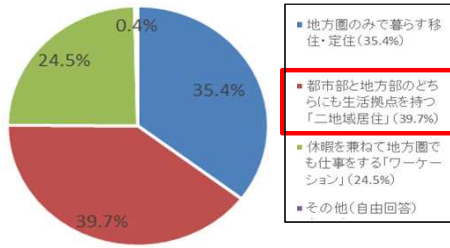
国土づくりの3つの視点：



<二地域居住等の推進>

東京一極集中の是正を図り、**地方への新たな人の流れを創出**するため、テレワーク環境の整備や空き家等の活用を通じた**二地域居住等**を推進。

Qあなたの望む地方暮らしのスタイルは何ですか？



上記のグラフは都内に住む20代以上の男女1,049名を対象に調査。そのうち地方暮らしに関心があると回答した580名が対象。

【コロナ禍における国民の意識の変化】

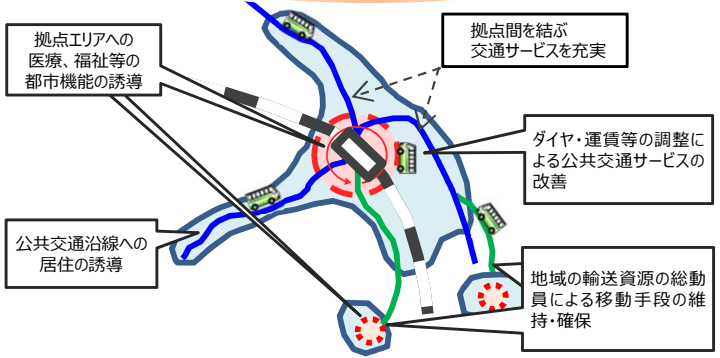
【全国版空き家・空き地バンク成約実績(累計)】

(出典) (株) トラストバンク 「地方暮らしに関するアンケート」 (令和3年6月)

<コンパクト・プラス・ネットワークの更なる推進>

まちなかへの住まいや都市機能の誘導と地域公共交通との連携による、**コンパクト・プラス・ネットワークの取組を進め**、活力あるまちづくりを実現。

多極ネットワーク型コンパクトシティ



【コンパクト・プラス・ネットワークの推進】

<ゆとりがあり居心地が良く歩きたくなるまちづくりの推進>

ゆとりある豊かな暮らしの実現を図るとともに、賑わいのあるまちを作るため、官民の既存ストック利活用等による「**居心地が良く歩きたくなる**」まちなかづくりを進めるとともに、**ほこみち（歩行者利便増進道路）制度の活用**等による多様なニーズに応える道路空間の構築を推進。



【官民一体で行う「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり】



【ほこみち制度の活用】
(神戸市道三宮中央通り線)

<バリアフリー施策の推進>

バリアフリー社会の実現に向けて、**ハード・ソフト両面**からのバリアフリーの取組を強化。



【鉄道駅のバリアフリー化】 【ホームドアの整備加速】



【心のバリアフリーの推進】